

発行所 尽誠学園高等学校 新聞部 善通寺市生野町 印刷所 株式会社 弘栄社 琴平町榎井261

校訓 愛敬誠

# Non-Fiction

~君は平成に何を残すのか!?!~



**第十九回誠華祭が九月十三日・十四日に行われた。今回のテーマは「Non-Fiction」君は平成に何を残すのか!?!** 西日本豪雨や台風21号、北海道地震など、自然災害が続いた今夏、生徒たちは自分たちでできることを考え、募金などに取り組んだ。人への思いやり、仲間との協力、創造といった精神は誠華祭でも発揮され、平成最後を飾るのにふさわしいものとなった。そのもようを三年新聞委員が取材した。

**一年生展示**  
一年生の展示は、どのクラスも完成度が高く、オリジナルのソドックスなものもあれば、個性が作品に現われているものもありました。

一組は風船を利用して「ミニオン」のほりぼてを作っていました。青色と黄色のおなじみのキャラクターは、とても鮮やかで印象に残りました。二組の牛乳パックピラミッドは人の背丈まであり巨大で驚きました。三組は細長い風船を使ってハートや動物などを作って飾っていました。四組のTシャツアートは、柄もの・オシャレに破けている服など何種類ものTシャツを集めてアートな空間を作り出していました。

五組の巨大オセロは、近くで見ると実際のオセロの何倍もの大きさで自分の体が小さくなったような不思議な気持ちになりました。六組は「ピタゴラスイッチ」・「ぼば抜き」のアトラクションを作り、観客が順番を待つ間、動画を楽しめていました。

七組のモザイクアートは雑誌「サッカーダイジェスト」の表紙を忠実に再現しようという工夫がされていました。

**二年生イベント**  
二年生のステージ発表では、ダンスや吉本新喜劇の動画などさまざまな発表がありました。どの作品も入念な準備が感じられました。イベントで最優秀賞を取ったのは一組です。転校生の恋というストーリーとダンスパフォーマンスのコラボで二倍楽しめました。準優勝の六組はステージをTVに見立てて、チャンネルを切り替えると二ユーエスやライブ、ダウンタウンの「ごっつええ感じ」が見られる仕組みになっていました。「ごっつええ感じ」の「放課後電磁波クラブ」ではヘルメット&タイツ姿の「N極つくくん」「S極つくくん」が登場。いじめやゴミのポイ捨てを次々解決していきました。

三位は五組で吉本新喜劇とダンスのコラボにチャレンジ。コミカルな犯人逮捕劇を演じていました。そして女子のダンスもキレイでした。

**三年生バザー**  
私たち三年生は例年通りバザーを担当しました。私のクラス三年四組はサーティワンのアイスクリームを販売しました。入賞を目標に、飾り付けからテーブルの配置までこだわりました。皆で力を合わせた結果バザー部門で二位となりました。

最後の文化祭で二位という結果を残せたのでとても嬉しかったです。

**各部展示・バザー**  
私は今回新聞委員として文化部の出し物を担当しました。印象に残ったのは写真部の展示です。通学路のさまざまな風景や流れる雲、愛犬のズームなど、撮り方が少し違うだけで、ずいぶん変わるんだなとすごく感じました。華道部は、前日に華道の先生の指導のもと、一人一作品の花を生けました。今回のテーマは「秋の花」。秋の花やすずきなどを使って秋を表現しました。当日は花が飛び出すポップカードを作り来場者に配りました。



1年7組のモザイクアート「サッカーダイジェスト」

家庭科部では、カバン・ポーチ・ヘアゴム・ぬいぐるみなどを手作りし販売していました。

保健室では、様々な展示・催し物がありました。展示では、スマートフォン等の危険について依存症などをとりあげ、身近な問題なので関心を集めていました。催し物では、豆つかみゲームや血管年齢測定や身長・体重測定がありました。

**各部イベント**  
オープニングセレモニーに続いて各部によるイベント発表が行われました。まず、応援部の発表は漫才から始まりました。次は女子のチアが行われました。笑いあり、華やかさあふる盛りだくさんの内容でした。

続く手話部は、挨拶の手話から始まりました。「花は咲く」の合唱に合わせた手話では、速いテンポでも完璧に揃っていて、練習を重ねた跡が感じられました。

放送部の劇「シユメーシユメ?シユメイト!」は学校の生徒が戦士に変身、魔法の力で悪い敵を倒していきま。八人の部員が一人一役を声だけで演じているのがとても上手で、本物の声優みたいでした。

一日目の最後を飾ったのが尽誠太鼓部の演奏でした。力強くたく太鼓の音は、体



各部イベントの様子

育館いっぱい響き渡り聞く人を圧倒させます。最後に披露した「昇」という曲は、太鼓部の伝統的な曲でした。お笑いを挟みながら演奏していて面白かったです。

二日目は合唱部の発表、恒例の書道部によるパフォーマンス、吹奏楽部と軽音楽同好会による演奏がありました。

**尽言録**  
三年五組 北村 光輝  
皆さん、登校して教室へ行く階段でしんどい、つらいと思ったことはありませんか? 私は毎回重い教科書をバッグに詰め込んで登校していますがしんどいと思つたことはほとんどありません。なぜなら私はある方法を使っているからです。そこで今回はその二つの方法を皆さんに紹介していきたいと思つています。

まず一つ目は、足の裏全体を階段につけることです。おそろく普段皆さんは階段を上る時にはかかとを浮かせて上っていると思つています。しかし、かかとを浮かせて上っているときはかかとが地面に当たらず、かかとが浮いてしまふので、かかとを浮かせて上ると、足全体の筋肉も使うようになり、足全体の筋肉で体を持ち上げるようになります。太ももは人間の体の中で最もパワーのある筋肉と言われているので、太ももを使うことで楽になつてくると思っています。

次に二つ目を紹介します。二つ目は、姿勢を意識することです。腰や背中が丸まっているとお尻やももの裏の筋肉が使えなくなつていきます。胸を張り良い姿勢で階段を上ると、それらの筋肉が使え、楽に上ることが出来ます。

話は変わりますが、日常生活でも姿勢を意識することによって体幹を鍛えることができます。運動部や、体を引き締めた人におススメです。

今年の誠華祭は平成最後の年ということで、生徒たちは心に残るものとなるようクラスや文化部でまとまり、工夫を凝らした作品展示やパフォーマンスを披露してくれました。そんな中、私が楽しみにしていたのが茶道部によるお茶会です。毎年受付の生徒をはじめ、どの生徒もこの日は浴衣を着ておもてなしの心を体現し、迎えてくれます。今年私にお茶を点ててくれた生徒は、昨年の誠華祭では舞台パフォーマンスで見事なストリートダンスを見せてくれた生徒だったため、そのギャップが新鮮で、このほか印象に残る一席となりました。

お茶会では、席に案内されるお茶碗が誰の作であるか、和菓子がこのお店のものか、生けてある花、掛け軸の書についての説明が聞かれます。

お茶会では、席に案内されるお茶碗が誰の作であるか、和菓子がこのお店のものか、生けてある花、掛け軸の書についての説明が聞かれます。

**おもてなしの心**  
お茶会では、席に案内されるお茶碗が誰の作であるか、和菓子がこのお店のものか、生けてある花、掛け軸の書についての説明が聞かれます。



校長 白井 良尚

しかし、そうしたやりとりは、もてなし側とされてきた側が心を通わせるきっかけを作るためのもの、きつかけを作るためのもの、だと知るようになりました。

茶聖と言われた千利休は「茶の湯とは、ただ湯を沸かして、茶を点てて、飲むばかりでなく、湯が沸いてどのくらいの時間待つか、茶碗にはどこまで注ぐか、どれ一つとしておざなりにはなりません。そうしていただくお茶は、飲むと豊かな香り、温度、湿度、ちよとよく、本当においしいお茶にこめた心は、飲む人

にも伝わりま。」「おいしいお茶を飲んでほしい」というその人の思いが伝わってくるのです。

また利休は「和敬静寂」という言葉で茶道の心を表しました。「和」は相手を思いやり、調和と平和を重んじる心を表し、「敬」は他人を敬い、今この瞬間を一期一会として大切にすることを表し、「清」は外見だけでなく心の汚れに気づき、清めようとする心。「寂」は落ち着いて何物にも動じない心と位置づけています。

最近ではこうした茶道の持つすばらしさに外国人が引かれ、逆に本来その精神を

受け継ぐべきわれわれ日本人がその作法の複雑さのために敬遠するという傾向が見られます。堅苦しく考えず、まずは「おもてなしの心」を楽しませてもらうという気持ちで臨んでみましょう。

誠華祭でのお茶会では、そのようなおもてなしの心が十分伝わってきます。茶道部の生徒たちを見ていると、ご指導いただいている安井先生から作法だけでなく、そうして日本の美しい考え方が伝承されていることを感じ、非常にうれしく思いました。新しい元号となる来年、みなさんも誠華祭ではぜひお茶会を訪れてみてください。

各部イベントの様子

各部イベントの様子

各部イベントの様子

# 待ちに待った体育祭

九月二十一日(金)に体育祭が行われた。小雨の心配をしながら、グラウンドまで移動した。天候により、競技の順番を変更して実施された。前日の雨のため足元が悪く、滑る生徒も多かったが、みんな力を出し切り応援にも燃えた。各コースの優勝クラスに感想を聞いた。



**二年一組**  
私達にとって二度目となる体育祭が終わりました。今年の体育祭は去年と違い、小雨でしたが、ほとんどの種目を行う事ができました。それぞれの競技が白熱した戦いでしたが、一番思い出に残っているのは、高校生活最後の集団演技です。短期間の練習でしたが、見事成功させる事ができました。将来に役立つ良い経験ができたと思います。

**一年一組**  
私達は体育コースとして体育祭で集団演技を全校生の前で披露しました。練習では、体育科の先生を中心に男子は縦と横の並びをそろえる練習をしました。女子は舞台でダンスの練習を一生懸命行っていました。しかし、思っているような演技ができず、厳しい言葉がある中で練習をすることもありました。そして、当日の演技はすこやかたど声をかけてもらい、頑張った甲斐があったと思います。こうして二年生は最後、一年生は最初の演技をとて、良い形で終わることができました。さらに、行進とコースで優勝もできたので来年も優勝したいと思いをしました。

**三年四組**  
私達のクラスはとても元気のあるクラスです。元気に練習をすることが多々あります。しかし、体育祭ではそれが良い面で発揮されたと思います。最初の選手決定の時から桑島先生のやる気が伝わっていました。リレーの順番は最初から決まっています。他の種目もスムーズに決まりました。当日は、雨の心配もありましたが無事行われました。最初の種目「百足」では男女共に息がピッタリで一位になることができました。その後の種目もみんな協力し、最後のリレーも作戦通り一位になり、総合優勝をすることができました。三年生最後の体育祭で優勝ができ、クラスの思い出がまた一つ増えて良かったと思います。元気があつたからこその優勝だったと思います。一番喜んでくれたのはもちろん、桑島先生でした。

**三年六組**  
天気予報は不運にも雨で一時的にどうなるかと思った最後の体育祭。競技数こそ減りましたが、何とか体育祭をすることができました。本当に良かったと実感しています。私自身はテントで見ているしかできませんでしたが、クラスの友人達の活躍する姿や、意外な一面、楽しそうに競技を行うみんなの笑顔を見ることができ、とても充実した時間を共有することができました。特に、リレーや障害物競走で頑張る仲間に対しての応援や選手が戻ってきた時に労いの言葉をかけているのを見ると、本当に良いクラスだなと思います。また、平成最後の体育祭ということで、節目の行事となり、そんな中で優勝することができ、良い思い出を作らせてもらいました。それは、前日からグラウンド整備をしてくださったり、朝早くから会場設置をして頂いた運動部、先生方のおかげです。本当にありがとうございます。

**三年八組**  
私たち三年八組は看護臨床実習の期間中に体育祭がありました。どの競技をどうも練習は一度もしたことありませんでした。しかし、そんな状況の中で私たちは体育祭で見事一位を取る事が出来ました。それは実習中に培ってきた団結力があつたからこそだと思います。普段は、クラスの一人一人が個性的でチームワークが良いとは言えませんが、こぞという時に団結できるのが三年八組です。担任の先生もとても熱い声援を送ってくださいました。優勝することができたと思います。

### 体育祭成績

総合成績部門

優勝	2位	3位
[Aコース] 2年1組	1年2組	3年2組
[Bコース] 3年4組	2年3組	1年4組
[Cコース] 3年6組	3年5組	1年5組
[Dコース] 3年8組	2年8組	2年7組

## 光れ個性! オープンスクール

夏休みの八月十七日(金)に本校でオープンスクールが実施された。朝早くから多くの中学生と保護者が訪問した。今年も去年以上に中学生や保護者が楽しめる工夫があつた。各コースに当日の様子を聞いた。

**三年六組**  
本年度のオープンスクールも多くの中学生が教養コースの見学会に参加してくれました。二つの教室に分かれての見学会でしたが、「コース主任による教養コース概要説明」「在校生からのメッセージ」「入試ワンポイントレッスン国語」の内容で、尽誠学園、そして教養コースの魅力を感じてもらえるような充実した時間を準備できました。中でも二年三組の治郎座諒君の生の声は、中学生の興味を引き、尽誠学園に対して好印象を持ってもらえる時間となりました。来年度、多くの中学生を教養コースに迎えたいです。(教養コース)

**三年八組**  
私は、中学生を特別進学コース・進学コースの説明会場(四階の教室)まで案内しました。今年も中学生は、五教科の授業から二つ選んで授業を体験しました。尽誠塾でお世話になっている矢野先生の英会話、元気の英語の挨拶が始まりました。中学生と一緒に日常会話で役に立つ英語表現の練習を中心に繰り広げられました。授業が進むと、中学生からの質問が増えて盛り上がりました。酒井先生の小説の解き方では、高校入試の傾向を掴んだ題材のプリントを使つて、丁寧に指導されていました。中学生も自分の意見を進んで発表して、分からない所を積極的に聞いていました。理科の授業では、教室を暗くして炎色反応について化学実験をしました。中学



上がりました。入試によく出るキーワードについてグループワークを通して、歴史の背景を伝えながら面白く丁寧に進められていました。(特別進学コース)

コンピュータ教室において今年度のオープンスクールが開催されました。案内係は学校の顔になるので特に服装や言葉使いに気を付けました。オープンスクール前日から準備や練習をしました。たくさんの方の協力があり、オープンスクールを成功させることができました。

そして、今年、私がブラカドを持ち、中学生を案内しました。案内係は学校の顔になるので特に服装や言葉使いに気を付けました。オープンスクール前日から準備や練習をしました。たくさんの方の協力があり、オープンスクールを成功させることができました。

**三年五組**  
犬井 悠里帆  
ちゃん顔のふき方を教えてもらいました。先輩方が優しく分かりやすく説明してくれたので、緊張もほぐれとても楽しく体験することができました。

そして、今年、私がブラカドを持ち、中学生を案内しました。案内係は学校の顔になるので特に服装や言葉使いに気を付けました。オープンスクール前日から準備や練習をしました。たくさんの方の協力があり、オープンスクールを成功させることができました。

### Cebu City - Republic of the Philippines

## セブ語学研修2018

海外研修に参加する機会を増やして欲しい、という生徒の要望を受け、2016年に第一回目の研修を実施しました。第二回目となる本年度は、二年生七名・三年生四名の合計十一名が参加し、七月二十八日(土)〜八月五日(日)の八泊九日の日程で実施されました。朝から晩まで英語漬けの語学研修はもちろんのこと、貧困に苦しみ暮らしている人々を訪ねボランティア活動を行ったり、ワークショップに参加して、他校の高校生とディスカッションを行うなど、世の中を違った視点で捉えることができ、充実した九日間を過ごしました。

**三年六組** 松本 詩音  
私は英語に対する苦手意識を克服するためにセブ語学研修に参加しました。英語を話すことはおろか海外に行くことも初めてだった私でしたが、見事目標を達成しました。その要因は主に二つあります。一つ目は、3D ACADEMYでの語学研修です。五日という短い期間の中でマンツーマンとグループの授業をこなしました。最初は恥ずかしさや慣れないこともあり話せませんでした。が、優しい現地の先生のおかげで少しずつ会話できるようになりました。それと同時にグループで先生と先輩が話している内容に入れるようになり、理解できる

**三年五組** 犬井 悠里帆  
あり方とは何かを考えさせられました。3Dアカデミーでの英語だけで行われる授業はとても新鮮でした。英語がわからない私に級友や先生方が言葉を選びわかりやすく伝えてくれました。様々な国の人と関わる楽しさを知り、級友と先生方の優しさで英語が好きになりました。そして、深田さんという外国で起業された人の話を聞く機会がありました。「やらなくてはいけないことではなく、やりたいことをしなさい」という言葉が心に残っています。この言葉は進路に悩んだ時に決断する勇氣を私にくれました。セブ語学研修を通して新鮮で刺激的な九日間と貴重な経験ができました。帰国後は、学んだことをこれらの人生に活かしていきたいです。日山先生を中心に現地の先生方や生徒、両親に感謝の気持ちで一杯の残り的高校生活はもう一回り成長して返しがしたいです。

生命体も組織も、永らえる為には、新陳代謝が必要なのでしょう。今年度も、6人の新しい仲間を迎えました。期待しています。頑張ってください。

藤原 正美 先生



- ① 商業
- ② 山羊座・香川県
- ③ 時間を見つけて身体を動かすこと。
- ④ 元気に挨拶してくれる生徒が多く、好印象です。
- ⑤ 今できる事を精一杯頑張ります。

光家 秀実 先生



- ① 看護
- ② 乙女座・香川県
- ③ 多趣味です。ライフワークは華道(嵯峨御流)です。
- ④ 毎日、ジェットコースターに乗ってる感じです。
- ⑤ 知らないことを知ることはワクワクするので皆さんと一緒に楽しく学びたいです。

神崎 佳久 さん



- ① 事務長補佐
- ② 昭和43年10月14日・香川県
- ③ 旅行
- ④ 部活動が盛んで、生徒が活発である。
- ⑤ 経験の少ない職務ですが一生懸命頑張ります。

片山 祥 先生



① 理科

磯野 裕矢 先生



- ① 商業・体育
- ② 平成6年3月15日・兵庫県
- ③ ランニング
- ④ 活発な生徒が多く、毎日楽しく過ごせる学校。
- ⑤ 生徒に負けないくらい元気に頑張ります。

岩井 昭寛 先生



- ① 家庭科・家庭部
- ② 平成7年6月21日・普通寺市
- ③ 漫画・SNS・喫茶店巡り
- ④ 地元の名高い学校という印象です。
- ⑤ 精一杯頑張ります。

- 質問事項
- ① 教科など
  - ② 生年月日・出身地
  - ③ 趣味
  - ④ 本校の印象
  - ⑤ 抱負

- 退職者
- 小林 翼先生 (参与)
  - 佐川卓次先生 (数学)
  - 金崎正久先生 (顧問)
  - 高儀雅俊先生 (理科)
  - 和泉典子先生 (看護)
  - 岡嶋徳幸先生 (地歴)
  - 豊嶋美央先生 (家庭)
  - 三津谷祐先生 (陸上)
  - 池田勝匡先生 (商業)
  - 切明誠貴先生 (理科)

### 新任紹介

ら怖さを知る感じることだそう。怖さを知れば行動が慎重になる。怖さを感じる訓練をしていけば事が起こ

た時に少しでもパニックになることが軽減できると聞きました。今年の防災訓練は避難用のアラームを公報が使う

「緊急地震速報」の音声にしましたが、少しでも生徒の皆さんが災害の怖さを感じてくれればと思います。

## 近辺 四話 2018

## 変革期 早目の準備を 進学講演会

去る3月9日、当時の2年生と保護者を対象に進学講演会が開催されました。例年7月に開催していましたが、早めのスタートを切れるように、この時期の開催になりました。

3月9日、現三年生とその保護者を対象に、進学講演会を開催しました。講師には前回大好評だったKE教育コンサルタント代表の蔵下克哉先生を再びお招きし、「大学受験に向けて！今できることは」というテーマで、一時間三十分の講演をして頂きました。蔵下先生の熱い語り口の貴重なお話を聞き、皆様に、大学受験に挑む気持ちを新たにしました。

以前のこの講演会を三年生の七月に実施していましたが、目まぐるしく変化する大学入試制度にいち早く対応し、早い段階に受験勉強のスタートを切って欲しいという思いから、今回から二年生のこの時期に実施することに変更しました。

前述の通り、大学入試は変革期を迎えようとしています。知識重視から思考力重視になります。また、民間テストの導入も決まっています。実際の実施は二年後ですが、今年

度から影響が出るのは必ずしもありません。定員以上の志望者がいる限り、夢破れる人も出るでしょう。リスクを少なくする為にも、講演会の内容を参考に「今できること」を実行して欲しいと思います。

### 進学講演会



## 感謝の気持ちでござります

衛生看護科二年 平成30年度 戴帽式

例年普通寺借行社で行われていた衛生看護科の戴帽式。今年度は、去る9月29日に本校の誠之館2階で挙行されました。

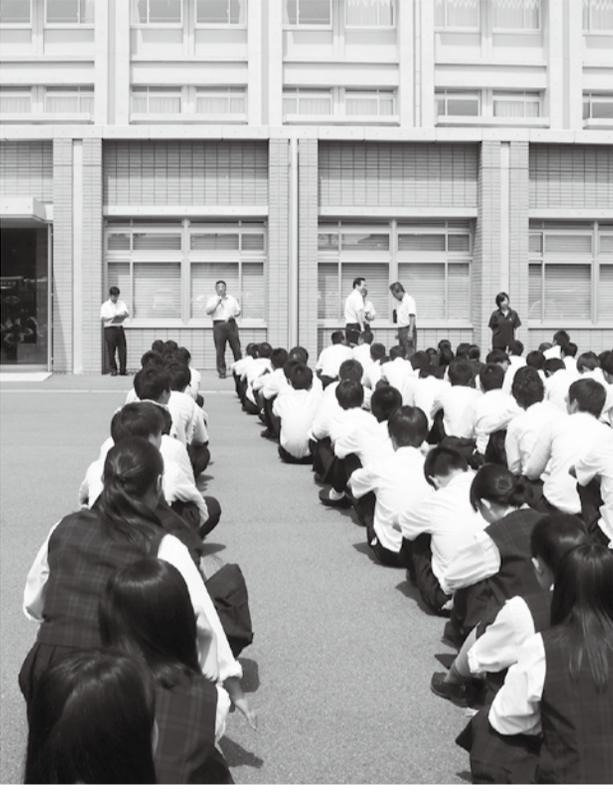
2年8組 深田歩里・堀上瑞姫

意味を理解することから始めました。尊敬とは何か、薬の扱い方、個人情報扱い方とは何か、など看護に必要なことを頭に入れ、練習をスタートしました。

夏休みが明けた頃、戴帽式の練習が始まりました。しかし、最初は全体的に緊張感が足りず、気が緩んでいました。忘れ物があったり、所作ができていなかったりとする状況で、先生たちも焦っていました。ですが、戴帽式が近づくとみんなの気持ちも切り替わり、ナイチンゲール誓詞も覚えた人が多くなってきました。



## 判断ミスを選べられるように 防災避難訓練



豪雨に地震。今年も日本は災害列島でした。天災にどう対処すればよいのか。今年度は、9月7日に防災避難訓練が実施されました。

平成30年度も様々な災害に日本だけでなく、世界中が巻き込まれました。その結果、地震を対象とした防災だけでなく、様々な防災、減災対策が必要であることが分かってきました。西日本豪雨にみられるような、ある程度は事前に災害が発生すると分かっているにもかかわらず、被害をもたらすような場合がありました。事前に配られていたハザードマップには、住んでいる地域は危ない」と表示されているのに避難をせず被

害を受けた方々がいたと報道されています。「自分だけは大丈夫。」というような思考のことを「正論バイパス」といいますが、その結果、ミスを見つけることはミスをしている本人にとっても難しいことになるとも思います。なるほど私何度も痛い目を経験している原因の一つはそれかと納得してしまっているのですが、人命に関わる状況ではそのような判断ミスはどうか避けたいものです。そのため大切なことは普段か

本番1週間前には、歩くスピードや、お辞儀の仕方、角度、ナースキャップ、ろくそくの受け取り方、ナイチンゲールからの火のもらい方などの、細かい所作が完璧にできるように練習しました。また、前日に先輩方からの指導や、より熱い気持ちで先生方からの指導も導のおかげで、自分達が出

来いていない所に気づくことができ、本番ではそこに気づけながら、思い出に残る良い戴帽式になりました。

戴帽式やナイチンゲール誓詞から学んだことを2年生の12日間の実習に生かしたいと思います。これからは3年生の42日間の実習に向けて日々看護の勉強に励んでいきたいと思ひます。

